

令和 3 年 6 月 18 日現在

機関番号：32682

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2016～2020

課題番号：16K04012

研究課題名（和文）固定収益会計による利益安定性メカニズムの解明 導入前と導入後の時系列分析

研究課題名（英文）Profit stability mechanism by fixed revenue accounting: Time series analysis before and after introduction

研究代表者

鈴木 研一（Suzuki, Kenichi）

明治大学・経営学部・専任教授

研究者番号：80309674

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,400,000円

研究成果の概要（和文）：解析に必要となる豊富な基礎的データを収集した。顧客志向と従業員の相互作用、協働への動機づけメカニズムを共分散構造分析などを用いて検証した。このメカニズムは、LOC理論や促進的MC理論を包括したモデルといえる。固定収益をもたらす顧客セグメントを隠れマルコフモデルによって把握する方法論を開発した。前述のメカニズムや固定収益をもたらす顧客セグメントを把握することが、線品市場戦略を変えることを事例調査によって発見した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、固定収益会計の普及基盤となるだけでなく、利益安定性という、従来の管理会計にないが、安定経営や雇用の維持の要となるまったく新しい概念を世界に向けて発信する基盤となる。

研究成果の概要（英文）：First, the mechanism of customer-oriented and employee interaction and motivation for collaboration was examined. Next, a methodology to grasp the customer segment that brings fixed revenue was developed by the hidden Markov model. Finally, it is confirmed that understanding the above-mentioned mechanism and customer segments that generate fixed profits will change the line product market strategy.

研究分野：管理会計

キーワード：マネジメントコントロール 収益管理 固定収益

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

申請者は、2005年に固定収益会計を発案し(鈴木・川野『日経情報ストラテジー』;浅田・鈴木・川野編『固定収益マネジメント』中央経済社),理論的に発展させてきた(鈴木・松本・松岡『会計プロGRESS』2006;鈴木・佐々木『原価計算研究』2007;松岡・鈴木『原価計算研究』2007;松岡・鈴木『原価計算研究』2010)。実際,固定収益会計は,百貨店,ホテルチェーン,商社に導入され,戦略の適正化をとおして,利益安定化に貢献している(鈴木『雑誌会計』2007; Hosoda and Suzuki, 2015a)

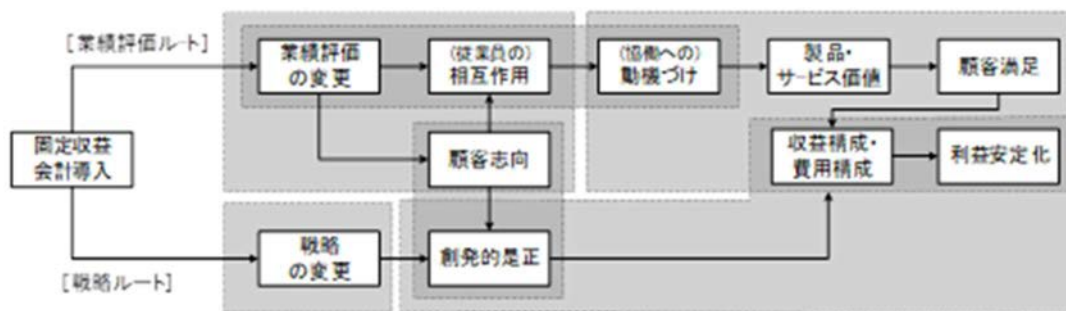
しかし,固定収益会計が,どのように従業員を動機づけて,利益の安定化を導くのかというメカニズムの解明が不十分という課題がある。管理会計は,戦略目標のための動機づけの仕組みであり,固定収益会計研究の基盤確立のためには,利益安定化メカニズムの詳細を解明しなければならない。

2. 研究の目的

本研究は,固定収益会計研究において,まだ解明されていない利益安定化メカニズムを解明し,当該会計を社会に普及させるための基盤となる研究を行う。具体的には,固定収益会計導入による業績評価と戦略の変化が,どのような影響を従業員や顧客に与え,利益安定化につながるかを考察する。

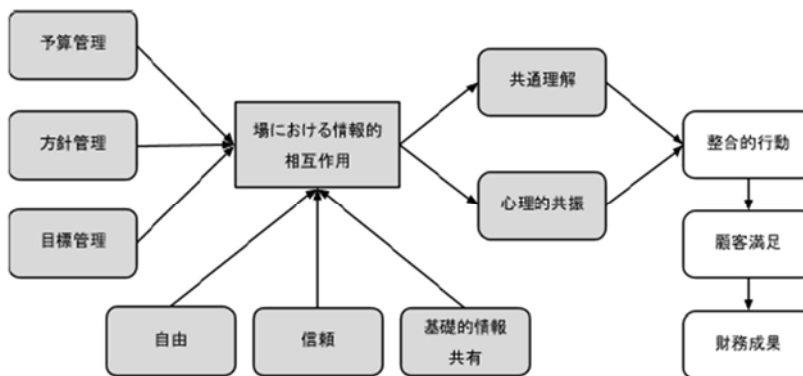
3. 研究の方法

固定収益会計導入前と導入後の因果関係の仮説の考察を行い,固定収益会計の利益安定化メカニズムを解明する。

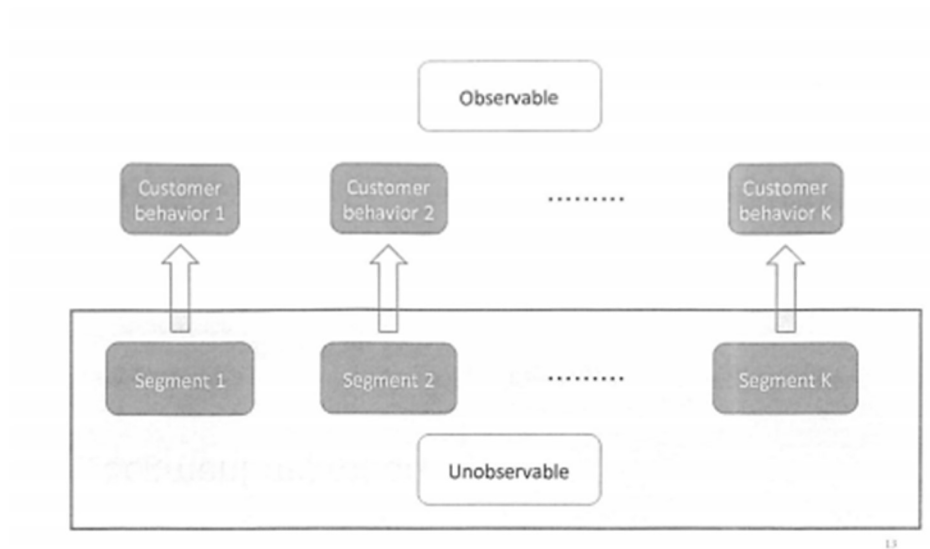


4. 研究成果

- ① 解析に必要となる豊富な基礎的データを収集した。
- ② 顧客志向と従業員の相互作用,協働への動機づけメカニズムを共分散構造分析などを用いて検証した。このメカニズムは,LOC理論や促進的MC理論を包括したモデルといえる。



- ③ 固定収益をもたらす顧客セグメントを隠れマルコフモデルによって把握する方法論を開発した。



- ④ 前述のメカニズムや固定収益をもたらす顧客セグメントを把握することが、線品市場戦略を変えることを事例調査によって発見した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計11件（うち査読付論文 11件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 M., Hayakawa, M., Hosoda, H., Toyosaki, and K., Suzuki	4. 巻 1
2. 論文標題 The Employee Perception of Corporate Social Responsibility and its Effect on Turnover Intention	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings, 7th International Conference on Engineering Business Management	6. 最初と最後の頁 6-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 H., Toyosaki, H., Hirose, and K., Suzuki	4. 巻 1
2. 論文標題 The Effect of Vertical Communication in the Management Control Process and the Sharing of a Management Philosophy on Informative Interaction in the Workplace	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings, 8th International Conference on Engineering Business Management	6. 最初と最後の頁 32-37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 M., Kodama, J., Takaki, Y., Iwabuchi, R., Endo, and K., Suzuki	4. 巻 1
2. 論文標題 Employee-customer Orientation and Communication through MCS: Empirical Study of Japanese Hotel Company	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings, 8th International Conference on Engineering Business Management	6. 最初と最後の頁 44-48
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Suzuki, K., Kikyo, M., Kodama, M., Toyosaki, H., Hiasa, Y., and Matsuoka, K.	4. 巻 15
2. 論文標題 Profitability of Fixed Customers: A Case of a Japanese Department Store	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Japanese Management and International Studies	6. 最初と最後の頁 3-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Komura, A. and K. Suzuki	4. 巻 15
2. 論文標題 Measuring and Managing Customer Profit Stability: A Japanese Hotel Chain Case Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Japanese Management and International Studies	6. 最初と最後の頁 53-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 豊崎仁美・児玉麻衣子・桔梗美彩・鈴木研一	4. 巻 6
2. 論文標題 自律的・整合的行動を促すマネジメント・コントロール・システム - ホテル業における調査と場の理論に基づく概念フレームワーク -	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 戦略経営ジャーナル	6. 最初と最後の頁 37-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki, K., Kikyo, M., Kodama, M., Toyosaki, H., Hiasa, Y., and Matsuoka, K	4. 巻 12
2. 論文標題 Profitability of Fixed Customers: A Case of a Japanese Department Store	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Asia-Pacific Management Accounting Journal	6. 最初と最後の頁 3-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木研一・日浅優・豊崎仁美	4. 巻 54
2. 論文標題 場の活きとサイバネティック・コントロール	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 立命館経営学	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日浅優・豊崎仁美・鈴木研一	4. 巻 4
2. 論文標題 マネジメント・コントロールと信頼の相互補完関係：ホスピタリティ産業の事例を用いて	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 戦略経営ジャーナル	6. 最初と最後の頁 171-191
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kenji Inoue and Kenichi Suzuk	4. 巻 -
2. 論文標題 Mechanism of Ba	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Proceedings, APMAA 2015 (11th) Annual Conference	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiasa, Y., H., Toyosaki, K. Suzuki	4. 巻 -
2. 論文標題 An analysis of the complementary relationship between management control and trust among employees in hotel industry: Case study in a japanese hotel company	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Proceedings, 4th International Conference Engineering Business Management, UTM Razak School of Engineering and Advanced Technology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計22件（うち招待講演 0件／うち国際学会 9件）

1. 発表者名 豊崎仁美・岩淵悠希・高木珠莉愛・児玉麻衣子・日浅優・小村垂唯子・鈴木研一
2. 発表標題 アジャイル・プロジェクト・マネジメント・コントロールの探索 - 場の論理の適用可能性 -
3. 学会等名 国際戦略経営研究学会全国大会@文教大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木研一・中村正伸・井芹薫・豊崎仁美・高木珠莉愛・岩淵悠希・齊藤毅・中島洋行・小村亜唯子・日浅優・児玉麻衣子
2. 発表標題 共創を加速するアーキテクチャー
3. 学会等名 PMI 日本フォーラム2019@学術総合センター
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 J., Takaki, Y., Iwabuchi, R., Endo and K., Suzuk
2. 発表標題 The Effect of Financial Control System and Non-Financial Control System on Informative Interaction in Project
3. 学会等名 8th International Conference on Engineering Business Management@ロイヤルチュランクアラルンプール(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masahiro Hosoda, Hitomi Toyosaki, Miyu Hayakawa, Kenichi Suzuki
2. 発表標題 Perceptions of gender diversity initiatives A case study of a Japanese hotel chain
3. 学会等名 32nd annual Australian & New Zealand Academy of Managemen(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Miyu Hayakawa, Masahiro Hosoda, Misa Kikyo, Yuki Iwabuchi, Kenichi Suzuki
2. 発表標題 The Effects of Employee Perceptions of Diversity Management in a Japanese Hotel Chain
3. 学会等名 8th Annual Australasian Business Ethics Network Conference 2018 @Massey University, Auckland, New Zealand(国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Miyu Hayakawa, Masahiro Hosoda, Hitomi Toyosaki, Kenichi Suzuki
2 . 発表標題 The Employee Perception of Corporate Social Responsibility and its Effect on Turnover Intention
3 . 学会等名 7th International Conference on Engineering Business Management @Universiti Teknologi Malyaia, Kuala Lumpur, Malaysia (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Toyosaki, H., Hiasa, Y., Kodama, M., and Suzuki, K.
2 . 発表標題 The Influence of MCS on Employees' Behaviour:Based on Ba Theory
3 . 学会等名 6th International Conference on Engineering Business Management (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Hiasa, Y., Kodama, M., Toyosaki, H. and Suzuki, K
2 . 発表標題 The Effect Of Management Control and Trust on Cooperative Behaviour through Communication in a Work Place
3 . 学会等名 6th International Conference on Engineering Business Management (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 M., Kodama, H., Toyosaki, Hiasa, Y.,and K. Suzuki
2 . 発表標題 Empirical Research on the Impact of Customer-Oriented Organizational Culture on Management Control Process
3 . 学会等名 6th International Conference on Engineering Business Management (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 小村亜唯子・山脇香織・三谷華代・鈴木研一
2. 発表標題 ホテル業における稼働の不確実性を考慮した予算達成確率の算出
3. 学会等名 日本管理会計学会2017年度全国大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三谷華代・小村亜唯子・山脇香織・鈴木研一
2. 発表標題 信頼とコミットメントを用いた非財務尺度と財務業績の関係
3. 学会等名 日本管理会計学会2017年度全国大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Toyosaki, H., Hiasa, Y. and Suzuki, K
2. 発表標題 Semi-horizontal coordination in J-firm
3. 学会等名 International Conference on Engineering and Business Management 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiasa, Y., Toyosaki, H. and Suzuki, K.
2. 発表標題 An Analysis of the Complementary Relationship between Management Control and Trust among Employees in Hotel Industry-Case Study in a Japanese Hotel Company-
3. 学会等名 International Conference on Engineering and Business Management 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 日浅優・鈴木研一
2. 発表標題 職場におけるマネジメント・コントロールと信頼の関係
3. 学会等名 日本管理会計学全国大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 豊崎仁美・鈴木研一
2. 発表標題 ホスピタリティ産業における水平的調整
3. 学会等名 日本管理会計学全国大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 鈴木研一
2. 発表標題 グローバルブランド戦略と経営革新
3. 学会等名 国際戦略経営研究学会全国大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 日浅優・豊崎仁美・鈴木研一
2. 発表標題 ホテル業におけるマネジメントコントロールと信頼の相互補完関係
3. 学会等名 国際戦略経営研究学会全国大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kodama., M, Y., Hiasa, K., Suzuk
2. 発表標題 The effect of trust and management control on cooperative behavior in service industry
3. 学会等名 国際戦略経営研究学会戦略財務会計研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Masahiro Hosoda, Ayuko Komura, Kayo Mitani, Kaori Yamawaki, Kenichi Suzuki
2. 発表標題 Corporate Social Responsibility, Customer Satisfaction, Loyalty and Financial Performance: A case of a Japanese Hotel Company
3. 学会等名 23rd Australian Association for Professional & Applied Ethics (AAPAE) Annual Conference
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小村亜唯子・鈴木研一
2. 発表標題 費用構成が利益変動に与える影響-国内ホテル業における事例研究-
3. 学会等名 日本管理会計学全国大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 豊崎仁美・鈴木研一
2. 発表標題 ホスピタリティ産業における水平的調整
3. 学会等名 日本管理会計学全国大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中村正伸・鈴木研一
2. 発表標題 戦略変更時に予算管理の果たす役割：医薬品開発を事例とするプログラム・プロジェクトベースでの予算管理の意義と課題
3. 学会等名 日本管理会計学全国大会
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 Kenichi Suzuki and Bruce Gurd ed.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 World Scientific Pub Co Inc	5. 総ページ数 172
3. 書名 Fixed Revenue Accounting: A New Management Accounting Framework	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------